

分野	専門分野	科目名	小児看護学実習 I
時間	58時間	開講時期	2年次（前期）
講師名	専任教員		
科目目標	1. 乳幼児の形態的特徴・機能、情緒・社会的機能の成長発達を理解する。 2. 発達段階に応じた日常生活行動への保育の実際を理解する。 3. 乳幼児期の健康に影響を及ぼす因子を理解できる。 4. 乳幼児とコミュニケーションをとることができる。		
講義形態	②実習・実技		
講義内容			
1. 形態的成長 2. 機能的発達 3. 精神・運動機能の発達 4. 社会性の発達 5. 乳幼児のコミュニケーション 6. 基本的生活習慣（健康教育） 7. 発達段階にあった遊び 8. 保育園・こども園の方針・規則・日課 9. 保育園・こども園の構造・施設整備 10. 感染防止・事故防止 11. 保育士の関わり 12. 家族との連携の方法			
【テキスト／参考文献】			
【評価】			
100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			

分野	専門分野	科目名	小児看護学実習Ⅱ
時間	41時間	開講時期	3年次（前期）
講師名	専任教員		
科目目標	1. 対象の発達段階と健康障害からくる変化を理解し、対象や家族に対する援助できる。 2. 小児の健康の保持・増進に向けた看護の役割について理解できる。		
講義形態	②実習・実技		
講義内容			
1. 小児の疾患・治療の理解 2. 看護の役割と機能 3. 小児の基礎看護技術 4. 健康障害のある患児と家族の理解 5. 他の保健・医療機関との連携			
【テキスト／参考文献】			
【評価】			
100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			

分野	専門分野	科目名	小児看護学実習Ⅲ
時間	38時間	開講時期	3年次（後期）
講師名	専任教員		
科目目標	1. 障害のある小児について理解できる。 2. 障害のある小児に必要な援助が理解できる。 3. 障害のある小児に関わるそれぞれの専門職が果たす役割および、他職種連携における看護者の役割が理解できる。		
講義形態	②実習・実技		
講義内容			
1. 学童期・思春期の特徴 2. 特別支援学校 3. 障害のある小児の看護 4. 疾患の理解			
【テキスト／参考文献】			
【評価】			
100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする			